

小柳よしふみ

その他の委員会での質疑

Q1 外国人登録法廃止に伴う制度変更の内容を該当者に通知するべきではないか？

回答 特別永住者に関して、16歳になる者については通知している。16歳以上の者については、実施に向けて検討をする。中長期在留者には、所管である法務省に通知するよう要請をする。

Q2 駒場スタジアムの女子サッカーの聖地化へむけた積極的施策を求める。

回答 今年度だけでも、日本初のU-20女子ワールドカップ、第1回国際女子サッカークラブ選手権、なでしこリーグカップの準決勝・決勝と各レベル最高の試合の招致をした。これは、他市にはない大きな実績。今後も実績を積み重ね、地域での裾野を広げる活動もして聖地化へと繋げてゆきたい。

その他・・・「PPS(特定規模電気事業者)の積極的活用」、「スポーツもできる多目的広場の拡充」などについて質疑を行いました。

小柳よしふみ 活動スナップ



自転車政策のためのアンケート調査中



まちづくりフォーラムへ参加



湘南新宿ライン停車記念イベントへ出席



市民が興した芸術祭(UFF)に協力



ママフェスタで子育てママを応援!



地域防災イベントに参加

4月1日完成

北浦和駅東口エレベータ



西口は平成25年度完成予定です。

最近特に気にされている方が多いであろう微小粒子状物質(PM2.5)。ぜんそくや肺がんなど人への影響が懸念されています。日本の環境基準は1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下。埼玉県環境部大気環境課では、毎日1時間ごとに測定結果を公表しており、健康への影響が懸念される70 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えるおそれがあるかどうかの高濃度予測を、毎朝8時に公表中です。

埼玉県大気汚染常時監視システム

検索

PM2.5
高濃度予測を毎日公表中

ご来場をお待ちしております!

第8回市政報告会を開催します

クイーンズ伊勢丹 3F・入場無料

日時: 平成25年4月7日(日) 18:30~19:45

会場: 北浦和カルタスホール 第1会議室
浦和区北浦和1-7-1

任期2年が経過し、1期4年のちょうど折り返しの時期になります。中間報告も含めて、議会活動、地域活動に市政・地域情報をしっかりお伝えしてまいります。心を込めてお迎えいたします。

民主党さいたま市議団主催 市政報告会2013

日時: 平成25年4月13日(土) 14:00~16:00

会場: 市民会館おのみや 大宮区下町3-47-8(大宮駅東口より徒歩約15分)

小柳よしふみ 事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F
TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail: info@koyanagi.jp ホームページ: http://koyanagi.jp/ ブログ: http://ameblo.jp/y-koyanagi/



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2013.3 vol.8

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail: info@koyanagi.jp ホームページ: http://koyanagi.jp/ ブログ: http://ameblo.jp/y-koyanagi/

平成25年度予算成立!

国の緊急経済対策対応の補正予算も

陽ざしの温かさも日々増している今日この頃ですが、みなさんいかがお過ごしでしょうか?

さて、さいたま市議会では2月定例会が3月14日に閉会しました。今議会では平成25年度予算の審議が中心議題でした。また、国の緊急経済対策による地域活性化のための追加補正予算に対応するべく、本市に於いても追加の補正予算が承認されています。

また、来年度は、さいたま市が政令市指定から10周年という大きな節目を迎えます。そんな中、浦和駅高架化事業の完成後は、駅ビルや再開発事業が控えています。大宮駅周辺の再開発や大宮区役所の整備計画が進められます。「次世代自動車・スマートエネルギー特区」の事業も本格稼働。ツール・ド・フランスを冠した自転車レースの誘致も決定しています。

このように活況に沸く一方で、義務的経費(社会保障費など)の増大が顕著になっています。高度成長期に建設された建物や上下水道などのインフラの改修・更新の時期となって、その整備費用も大きな負担となります。

今回も予算規模は、過去最大となりました。ただ、素直に喜べるものでもありません。財政規律を守ると同時に、秩序あるまちの発展としっかりとした財源の確保が望まれます。本市の特長の一つである文教都市としての環境を整える。また、子育て環境の整備を進める。これは、このまちの環境を守るだけでなく、市税収入の半数を占める個人市民税など財源の確保にもつながります。また、企業誘致やイベントの収入も良いことですが、やはり地域の商店街や地元企業の活性化は重要な課題と考えます。これは、単なる経済面だけではなく、まちづくりや行政への市民の参画という観点からも重要な担い手でもあるからです。様々な行政の事業や開発、イベントなどを地域経済への活性化にどう結び付けるのか?これが、官民挙げての重要な課題と認識をしています。

このようにさいたま市は、大きな転機を迎えます。5月には、市長選挙も行われます。今後のさいたま市政に、ぜひご注目ください。小柳よしふみもしっかりと活動してまいります。

さいたま市TOPICS

平成25年度予算成立!

予算総額は、8,672億円で前年比+16.3%(ただし、公債費の計上基準が昨年と変更のため)。一般会計予算は、4,475.2億円で+3.8%。詳細は中面へ。

緊急経済対策対応の補正予算成立

国の緊急経済対策へ対応のための平成24年度補正予算で事業総額は約102億円。詳細は、中面の解説参照。

浦和駅周辺まちづくりが進む

浦和駅高架化事業が3月で完了。3/16には湘南新宿ライン全車停車を開始した。開発事業者は、(株)アトレ。高架下ショッピング街には、スーパー、スイーツ、カフェレストラン、服飾・雑貨などのショップが入る予定。その他保育所、駐輪場、駐車場等も予定。平成26年秋頃オープン予定。西口駅ビルには、ショップの他スポーツジムを計画。平成29年オープンを目指している。

不適正な事務処理関係100条委員会が終結

一昨年度に起こった、年度またぎ事業に関する不適正な事務処理について、特別委員会で審査を続けてきた。第三者委員会からの答申や委員会からの再発防止策などの提言をまとめて終結。

さいたま市長選挙の投開票日は、5月19日

さいたま市長選挙は、5月5日告示、19日投開票。清水市政1期目の総括の場となる。見沼区では、市議会議員補欠選挙も実施。

浦和っ子

小柳よしふみ
プロフィール

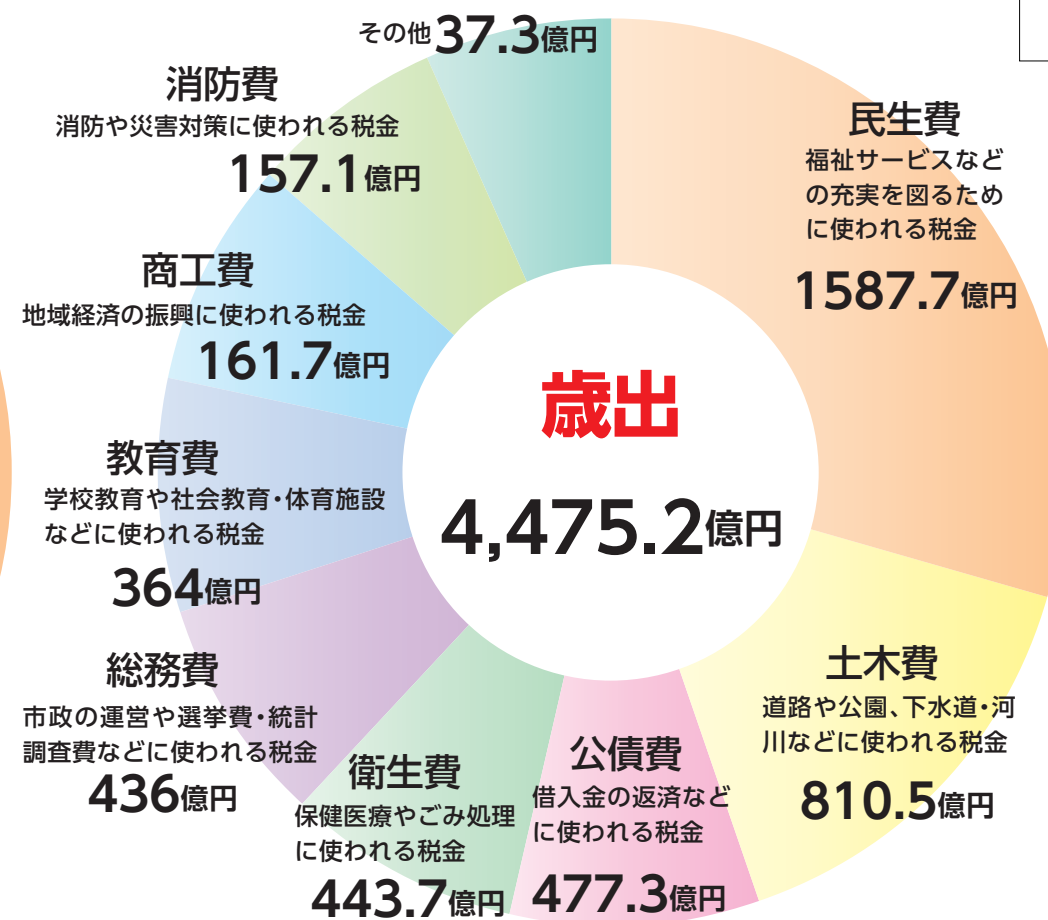
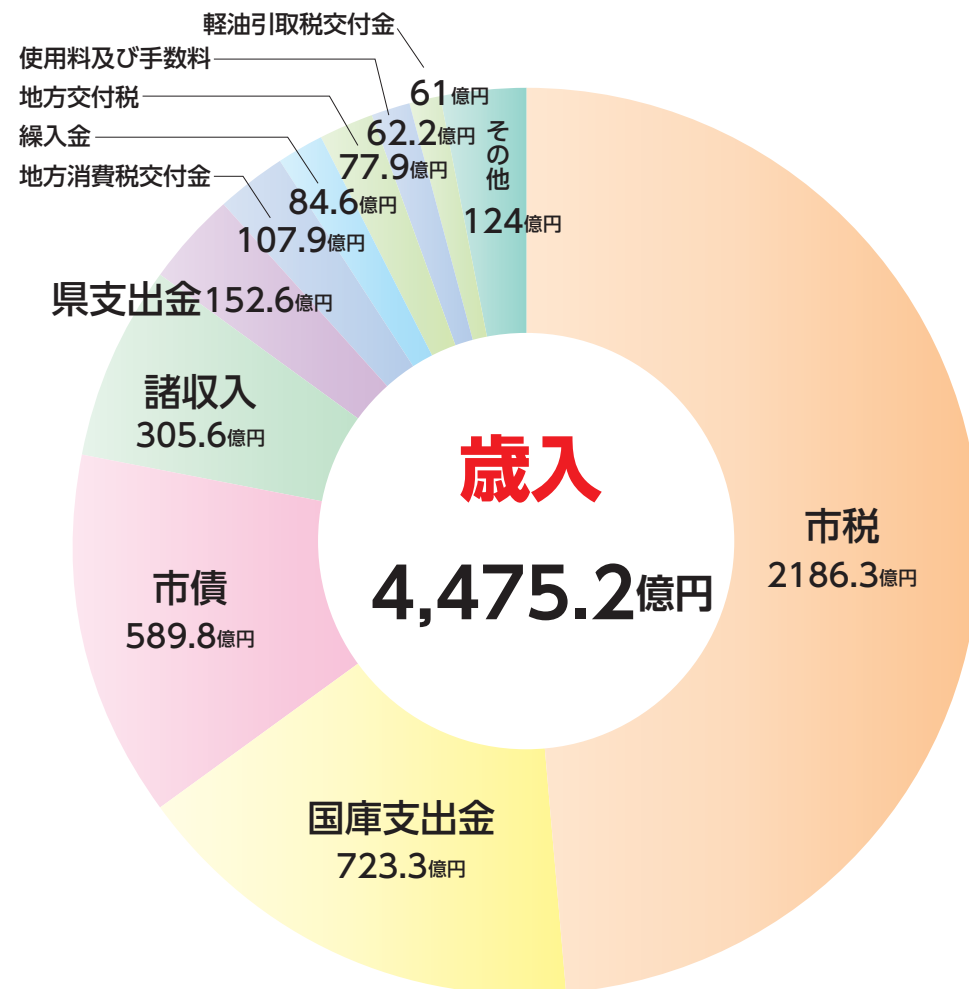
昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年5月よりさいたま市議(浦和区)。
市民生活委員会所属。



さいたま市平成25年度予算

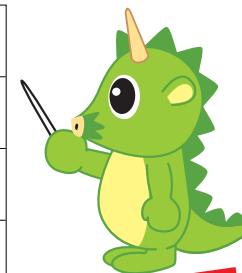
一般会計予算

注目点は、経済の活性化。



※区分ごとに切り捨てるため各数値の合計と合計額が一致しません。

福祉や教育、公園や道路の整備に使われる予算は…	一般会計	4475億2000万円
国保や介護保険など特定の収入がある事業は…	特別会計	3121億4000万円
病院・上下水道事業は…	企業会計	1075億5071万円
	合計	8672億1071万円

前年度比
+16.3%

小柳よしふみの視点

重点4分野は、昨年の重点3分野に追加された内容で、かなり幅広くなっています。むしろそれ以外の分野に不足がないかを注視する必要も感じています。例えば、条例を制定した障がい者施策や文化振興などです。

来年度予算の注目点は、経済の活性化。経済担当部局だけでなく、市が行う各事業において「地域経済の活性化」の視点を持つことを求めてきました。清水市長からは、その視点を持って事業執行を進めるとの議会答弁もあります。しっかりと検証していきます。

また、ひとつの事業で多方面への成果を実現することも重要です。例えば、ツール・ド・フランスの自転車競技によって、観光客誘致、地域経済への効果、健康増進、公共交通のあり方の検討など、各方面への政策展開や相乗効果を図ってゆかねばなりません。これこそが効率的な税金の使い方であり、まさに行革です。こういった視点から、平成25年度の議会活動に臨んでゆきたいと考えています。

平成25年度の重点4分野と主な事業

① 防災、環境・エネルギー対策

次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業

スマートホーム・コミュニティの推進
ハイパーエネルギーステーション(ガソリン、水素ガスなどの供給拠点)の整備

防災拠点施設のエネルギーセキュリティの強化

市立学校に太陽光発電設備、蓄電池の設置



② 高齢者支援、子育て支援、教育の充実

シルバーポイント(長寿応援ポイント)事業

民間団体が主催する高齢者サロンや健康サークルなどの参加者にポイント付与、翌年に奨励金を交付。

いじめ・自殺防止等子どもサポート事業

悪質ないじめ問題への迅速な対処のため、専門知識を持った警察OBの配置や自殺防止に適切な対応ができるスキルを持った教員を養成。

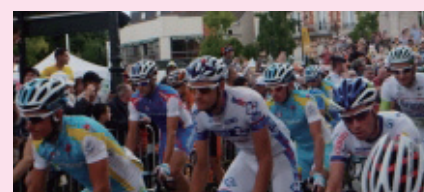
保育所の新設拡大整備事業



③ 健康増進、スポーツ振興

ツール・ド・フランスを冠した自転車競技大会の開催事業

一周3Km程度の比較的短距離を周回するレース形式のクリテリウムを、世界トップレベルの選手参加のもと開催。



④ 地域経済の活性化

さいたま医療ものづくり都市構想推進事業

医療機器関連分野への研究開発型ものづくり企業の新規参入・事業拡大への支援

商店街活性化キャンペーン事業

緊急経済対策 平成24年度追加補正予算の概要

国の緊急経済対策への対応のための追加補正予算。内容は、下の通りで、来年度以降事業の前倒しが主です。

全国的に技術者不足、資材のコスト高の状況です。そんな中での全国的な土木・建設事業の拡大が、かえって東北の復興の足かせにならないか、懸念されます。

市としては、国の財源を有効活用するという視点も必要なので、受け皿としての補正予算には賛同するものです。ただ、今後の状況の推移や事業効果を注視しながら、必要な対応を求めてゆくことも重要と考えます。

I 復興・防災対策 37億2600万円

公立学校、公共施設、道路、上下水道、橋りょう、消防団車庫の老朽化・耐震化対策など

II 成長による富の創出(民間投資の喚起と人財育成) 31億8200万円

土地区画整理事業、ICアクセス道路整備、理科教育設備の充実など

III 暮らしの安心・地域の活性化 32億9400万円

老人福祉施設の設備改修、都市公園の整備、生活道路の整備促進など

事業総額 約102億円